

令和4年度 福井県立福井商業高等学校スクールプラン

福井県教育委員会

「一人一人の個性が輝く、ふくい未来を担う人づくり」
(福井県教育振興基本計画の基本理念)

教育目標(方針)

「誠実・健康、進取・明朗、商業の知識技能」

日本一の商業高校を目指し

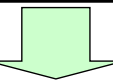
- 1 生徒一人ひとりの可能性を引き出し、教科支援をはじめすべての分野でバランスのとれた教育を行い、社会に貢献できる人材を育成する。
- 2 社会規範や高い倫理観を持った人材を育成する。
- 3 情報活用能力やコミュニケーションの能力など将来職業人として必要な基本的資質を身に付けた人材を育成する。
- 4 商業に関する豊富な知識・技能を身に付けた人材を育成する。

学校業務改善の取組

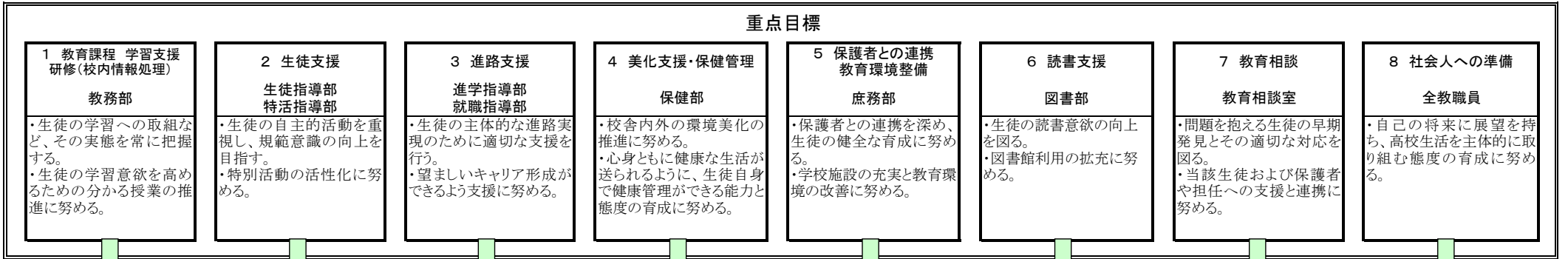
- ①ノー残業デーを導入し、会議・行事の精査、簡素化、削減を図る。
- ②本校「部活動に係る活動方針」に則り、効果的、効率的、合理的な部活動を目指す。

人権教育の推進

- ①あらゆる教育活動を通して、自己有用感を高め、お互いに認めあう生徒の育成を目指す。
- ②命の尊さを理解し、尊重する態度を育てる。



重点目標



具体的取組

①分かる授業を推進するため、公開授業週間を実施し、教材研究・授業研究を充実させ、支援の充実と研究・工夫を継続的に行う。

目標：授業の内容が理解できている生徒の割合70%以上

②生徒の学力向上を図るため、小テストなどを実施し、また、課題の取組状況を確認する。さらに成績不振の生徒に対しては、補習等で時間をかけて丁寧に支援する。

目標：小テストの実施、課題の取組の確認、成績不振の生徒の支援を行なっている教職員の割合80%以上

具体的取組

①全教員による容儀検査を各学期3回実施する。定期的な容儀検査だけでなく、徹底した事前・事後支援を行う。

目標：正しい身なりを心がけている生徒の割合90%以上

②主体的な生徒会活動を通して、自主自律の精神を養う。また、保護者との相互理解を深めながら部活動の活性化を図るとともに、勉学との両立を目指し生徒の心身の向上を促す。

目標：学校行事(学校祭・文化発表会など)の内容について充実していると思う生徒80%以上

具体的取組

①生徒の主体的な進路実現のために適切な支援を行う。

目標：明確な目標を持ち、就職または進学しようとする生徒の割合80%以上

②進路に関する情報を充実させ、生徒の実態に即して提供する。

目標：適切な進路情報を得たと感じる生徒・保護者の割合70%

具体的取組

①清掃の支援や監督を行い、生徒が環境美化に取り組む姿勢を育成する。

目標：校舎内外の環境美化に心がけている生徒の割合90%以上

②保健調査や定期健康診断の結果をもとに、適切な保健支援を行う。また、保健だよりなどの発行を通じた啓発活動により、保健知識の普及を図る。

目標：自分の健康状態を把握し、検査や治療を受けるようにし健康管理に努めた生徒の割合90%以上

具体的取組

①PTA活動や学校行事に関する情報発信を行い、保護者と教職員の連携を深めるとともに、各種学校行事への保護者の積極的な参加を促す。

目標：PTA活動や学校行事の参加を通して、保護者と教職員の連携が取れていると感じている保護者の割合90%以上

②生徒の健全育成・進路実現のために、保護者の研修の機会を充実させるとともに、生徒の意見も積極的に採り上げ、教育環境の整備を図る。

目標：教育環境の整備、改善に努力している教職員の割合80%以上

具体的取組

①新入生図書ガイダンス、全校一斉読書タイムなどを行い読書への関心を高める。

目標：生徒が読書に親しむことが出来たと感じている割合90%以上

②図書委員会の活動の充実、広報活動による図書館利用の拡充を図る。また新聞記事の紹介・掲示を通じて社会情勢に関心を持たせる。

目標：新聞活用を通じて広く社会情勢に関心を持つ機会、及び図書館の利用が増加した生徒の割合70%以上

具体的取組

①学年会、はぐみ委員会など全校協力体制のもと、問題の早期発見解決に努める。

目標：各担当部署と連絡を密にし、生徒の相談活動を行っている教職員の割合70%以上

②生徒へのアンケート、生徒理解のための研修会などを通して、生徒を正しく理解できるよう努める。

目標：アンケートや研修会等を通じて、生徒の特徴を理解するよう努めている教職員の割合70%以上

具体的取組

①学校生活の様々な場面を活用して、自分の生き方を真剣に考え、人生を主体的に生きる態度の育成に努める。

目標：国内、国外の社会情勢や出来事などの情報収集に努め、理解しようとしている生徒の割合70%以上

②教育活動全体を通して、ビジネスマナーやコミュニケーション能力の育成を図る。

目標：挨拶や言葉遣いに気をつけながら、コミュニケーションをはかる取り組みをしている生徒の割合80%以上